

業務状況説明書

(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

富士見市下水道事業

1 令和3年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して水洗便所化人口で、987人（0.90%）の増加となっており、1日平均処理水量は3,449 m³の減少、有収水量は、65,452 m³の増加となっております。

区 分 \ 年 度	令和3年度 上半期	令和2年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
水洗便所化人口（人）	110,900	109,913	987	0.90
1日平均処理水量（m ³ ）	34,098	37,547	△3,449	△9.19
有 収 水 量（m ³ ）	5,387,314	5,321,862	65,452	1.23

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、山室ポンプ場更新工事（大字勝瀬地内）を実施しています。雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、ポンプ2台の更新工事と、ポンプ更新に関連する電気設備工事を実施しています。また、浸水対策調査検討業務委託（水谷東地内外）を実施しました。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区（大字上南畑地内外）、新河岸第16-1-1処理分区（大字南畑新田地内外）の管渠築造工事を実施しました。

(2) 経理の状況（税込）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,782,654	940,474	52.76	事業費	1,633,482	227,895	13.95
営業収益	1,326,639	828,189	62.43	営業費用	1,511,466	173,484	11.48
営業外収益	456,014	112,073	24.58	営業外費用	120,986	54,273	44.86
特別利益	1	211	21,136.40	特別損失	550	138	25.01
				予備費	500	0	0.00

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,006,537	56,506	5.61	資本的支出	1,841,390	878,252	47.70
企業債	799,100	0	0.00	建設改良費	1,174,849	555,453	47.28
国庫(県)補助金	158,450	0	0.00	企業債償還金	665,541	322,798	48.50
負担金	48,987	56,506	115.35	予備費	1,000	0	0.00

2 令和2年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	令和2年度		令和元年度		比 較			
					増 減		比 率	
現在処理区域内人口(A)	110,635	人	110,094	人	541	人	100.49	%
行政区域内人口(B)	112,204	人	111,936	人	268	人	100.24	%
普及率(A)/(B)	98.60	%	98.35	%	0.25	%	—	
水洗便所化人口(C)	109,612	人	109,103	人	509	人	100.47	%
水洗便所済戸数	55,859	戸	55,394	戸	465	戸	100.84	%
水洗化率(C)/(A)	99.08	%	99.10	%	△0.02	%	—	
年間処理水量	13,128,612	m ³	12,829,821	m ³	298,791	m ³	102.33	%
年間有収水量	10,704,479	m ³	10,384,102	m ³	320,377	m ³	103.09	%
1日平均処理水量	35,969	m ³	35,150	m ³	819	m ³	102.33	%

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、江川第4処理分区（貝塚2丁目地内）を73.6m、新河岸第12-2-1処理分区（鶴瀬東2丁目地内）を47.6m、それぞれ単独事業として合計121.2mの管渠築造工事を実施しました。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第16-1-1処理分区（大字下南畑、南畑新田地内）を国庫補助事業として1,079.8m、単独事業として2,415.8m 合計3,495.6mの管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、砂川堀第2雨水幹線改修工事（大字勝瀬地内）、江川左岸第七ノ一号雨水幹線改修工事及び新河岸川第五排水区のポンプ施設更新実施設計を実施しました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

事業収益が1,783,081,587円(税込金額1,895,927,360円)で前年度対比3.0%の増となり、事業費用では1,484,168,419円(税込金額1,530,362,798円)で前年度対比0.9%の増となりました。この結果、298,913,168円の純利益となりました。

イ 資本的収入及び支出

収入は685,222,410円(税込金額689,338,098円)で支出が1,616,607,577円(税込金額1,700,039,600円)となりました。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額1,010,701,502円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額36,030,000円、過年度分損益勘定留保資金360,259,345円、当年度分損益勘定留保資金154,032,157円、繰越工事資金260,380,000円及び減債積立金200,000,000円で補填しました。

収益的収入及び収支(税抜)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
事業収益	1,783,081,587	100.00	事業費	1,484,168,419	100.00
営業収益	1,258,280,429	70.57	営業費用	1,354,473,445	91.26
営業外収益	524,644,739	29.42	営業外費用	129,678,649	8.74
特別利益	156,419	0.01	特別損失	16,325	0.00

資本的収入及び収支(税込)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
資本的収入	689,338,098	100.00	資本的支出	1,700,039,600	100.00
企業債	484,900,000	70.34	建設改良費	994,443,491	58.50
国庫(県)補助金	77,890,000	11.30	企業債償還金	705,596,109	41.50
負担金	126,548,098	18.36			